

太田たかのり 市政レポート

第3号

地方統一選挙を振り返って

4月に県・市町村で統一選挙が行われました。自民党青年部で共に汗を流した同志の結果も様々で、あらためて、1票をいただく責任の重さや難しさを感じました。

さて、北名古屋市も誕生して1年になりました。皆様からいただくお言葉の中で最も多いのは、「合併して何が良くなったの？」であります。合併をスムーズに進めるために、本来の合併の目的である行財政改革を断行できなかったところに問題があるように感じます。言い換えれば、新婚家庭でありがちな、気遣いは過剰なのに、して欲しいと思っていた気遣いではなく、フラストレーションが溜まった状態にあると考えられます。この状態を打破するには、**将来のビジョンを明確にして、しっかりと話し合うことが大切である**と考えます。

今年度は、総合計画・都市計画マスタープランなどを策定します。そういった意味で、今後の北名古屋市の将来を決定付ける年度となります。皆様の声を聞き、積極的に取り組む所存でございます。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

平成19年 6月 太田たかのり

3月定例議会

3月6日～23日

予算特別委員会の質疑（主な質疑）

①入札制度について

【質 問】 総務省・国土交通省で、都道府県・政令市の予定価格 1,000 万円以上の工事は、原則として一般競争入札で行うことが決定されたが、北名古屋市の今後の入札の取り扱いはどうするのか。

【答 弁】 近隣市町の状態を見ながら、北名古屋市入札要綱を作成していく。

【再質問】 一般競争入札が増えることにより、不正の防止に有効であるが、粗悪な業者などの参入が心配だ。そういった観点からも地元業者の育成も視野に入れるべきと考えるが。

【答 弁】 金額・地域に応じて、地元業者を育成していきたいと考えております。



入札制度とは

一般競争入札：広く門戸を開き、誰でも入札に参加できる入札方法。
指名競争入札：資産、信用等の面から、適切と思われる者を指名し、入札する方法。

②開票時間の短縮について

【質 問】 4月の地方統一選挙において、400から500の自治体が「0.1秒の改革」に目標を定めて、スピード開票に挑戦するそうだ。開票時間が短くなれば人件費が浮き、職員のコスト意識が高まると考えるが、市の開票への取り組みは。

【答 弁】 以前は、合併したばかりで、不手際が多かったので、今回は、旧両町の良い点を取り出して取り組みたいと考えております。

【要 望】 スピード開票に成功した自治体のマニュアルが、インターネットでも手に入れることが出来るので研究し、1秒でも早く開票できるよう要望します。

「0.1秒の改革」とは

東京都府中市の市長選の開票時間33分を皮切りに、早稲田大学大学院の北川正恭教授が開票時間のスピードアップ運動を仕掛け、全国各地の自治体で進んでいます。

③障害者ガソリン補助事業について

【質 問】 補助券の印刷代、指定のガソリンスタンドの事務手続きの労力、最近のガソリンの高騰を考えると、現行の補助券の制度を改めて、利用者に一括に補助金として渡した方が喜ばれるのではないか。

【答 弁】 ガソリンスタンドの地元業者の育成ということで現行のままで、ご理解をいただきたい。

【要 望】 利用者の声をしっかり聞いて、検討していただくことを要望します。

5月臨時議会

5月16日

会派の役職 市政クラブ幹事長

議会の役職 行政常任委員会委員・議会運営委員会委員

西春日井広域事務組合議会議員（消防の関係）

今年度の議会での役割が決定しました。会派においては、幹事長という重い職をいただきました。議員24名の内15人という責任会派の運営をリードしていきたいと考えております。

今後の予定

6月 1日（金）～21日（木）	6月定例議会
29日（金）	広域事務組合議会臨時会



ご意見・ご要望はこちらまでお寄せください。また、ご住所・ご氏名の間違い、変更などがありましたらお手数ですがご連絡ください。

事務所 〒481-0043 北名古屋市沖村六反 172-2 TEL：(0568) 23-2283
FAX：(0568) 23-2295